ラッセルあり、岩場あり
中級者向けの渋めルート

権現岳

日帰りまたは1泊2日

天女山入口≫天女山≫三ツ頭≫権現岳（往復）

▼必要な雪山技術
P862／P881／P892／P903／P914

夕暮れの権現岳。頂上は左のピーク、右はギボシだ

体力

★★★★☆

赤岳、横岳など西面からアプローチする山に比べて登山者が少ない。他人のトレースをあてにせずにラッセルできる体力が必要。

技術／装備

★★★★☆

権現岳の登下降では確実なピッケル、アイゼンワークが必要。初心者を交じえたパーティではワンポイントのロープ確保が望ましい。

アイゼン　トレッキングポール　ピッケル　ロープ

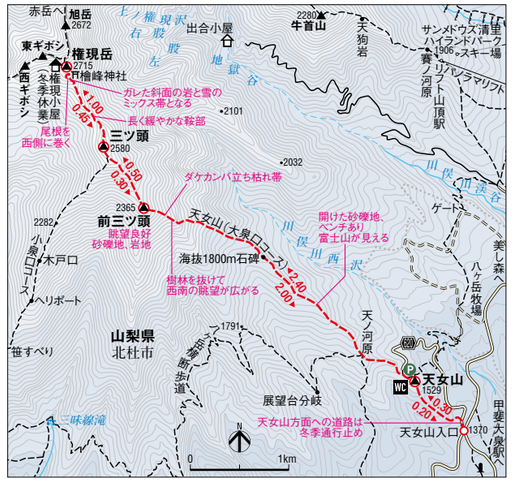
深雪でのラッセル対策が必要。携行性や傾斜の強い尾根での行動などを考えるとスノーシューよりもワカンの方が有効だ。営業小屋がないルートなので、幕営装備が必要な場合も。

南八ヶ岳の中でも南部に位置する権現岳。山域中の他のルートと違い、冬季営業小屋がなく孤高のイメージが強い。積雪が少ないシーズン初めなどは日帰りが可能だが、本格的なシーズン中はラッセルありのテント泊前提で計画したい。頂上付近は険しい岩峰がそそり立ち、前三ツ頭付近では他人のトレースをあてにできない厳しいラッセルが要求される。小粒ながらも充実した山行が楽しめよう。

天女山入口のゲートから歩き始める。駐車場のある天女山から天ノ河原を過ぎると本格的な登山道となる。この辺りからは富士山や南アルプス北部の眺めがすばらしい。ここから樹林帯の尾根に続く前三ツ頭へはつらい急登。雪の状態によっては深いラッセルが続く厳しいピッチだ。さらに森林限界を越えて三ツ頭まで来ると、めざす権現岳や、するどくそびえる赤岳などが望める。ギザギザとした南八ヶ岳の白い山並みが美しい。幕営する場合は、この先の三ツ頭と権現岳とのコルが、風が避けられる好幕営地だ。

コルから権現岳へは岩場の急登が続く。特に山頂直下は傾斜も強く、岩と氷のミックス帯となるので、確実にピッケル、アイゼンを使うこと。山頂からはキレットを挟んでそびえる赤岳の眺めがすばらしい。この先、赤岳への縦走は上級者向けルートなので安易に立ち入らないこと。展望を楽しんだ後は、気を緩めず慎重に往路を下る。

（星野秀樹＝写真・文）



▶歩行時間　1日目＝8時間35分
▶アクセス［公共交通機関］　往復JR小海線甲斐大泉駅⇔天女山入口（タクシー約10分／約1600円／北杜タクシー☎0551-38-2255）
▶アクセス［マイカー］　中央道長坂ICから県道28号経由で天女山入口へ。約20分。天女山入口に駐車スペースはあるが5台程度。
▶登山届提出先　長野県観光部山岳高原観光課fax03-6862-5035
▶2万5000分ノ1地形図　八ヶ岳東部・八ヶ岳西部

STEP UP

県界尾根～赤岳

東面の一般ルートとはいえ、営業小屋がなく、登山者も少ないので自力での行動・判断が必要。上部の雪稜は傾斜が強く技術的にも充実。

紹介ルート
権現岳

天狗岳

黒百合ヒュッテから天狗岳を往復する。樹林帯から森林限界、岩稜帯での雪山歩行技術が身につけられる。テント泊なら雪山生活の基礎技術も。

冬季小屋泊で
マイナールートを歩く

編笠山

1泊2日

観音平入口≫観音平≫押手川≫青年小屋⛩≫編笠山≫観音平入口

▼必要な雪山技術
P861／P881／P892／P903／P914

体力

★★★☆☆

大きなアップダウンはないが、樹林帯をひたすら歩くルート。青年小屋の冬季小屋を利用するので寝具や炊事装備、食料も担ぐことになる。

技術／装備

★★★☆☆

ルート上のほとんどが樹林帯で、南八ヶ岳の山々のなかでは比較的安全。ただ入山者の少ないエリアなので自力でのルート維持やラッセルが必要なことも。

トレッキングポール　ピッケル　ワカン

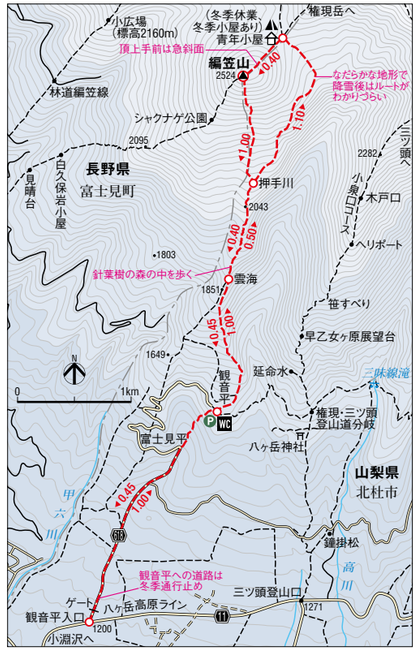
入山者が少ないので、ワカンがあると深雪時の行動が楽だ。滑落への備えにピッケルを持つよりも、バランスの保持のためにトレッキングポールを使ったほうが安全に歩ける。

岩稜の山が多い南八ヶ岳にあって、編笠山は山頂の近くまで針葉樹の森に守られながら歩ける、比較的安全な山だ。ただし、ルート上にある青年小屋は冬季休業のため入山者が少なく、降雪直後はルートがわかりづらいことも多い。ルートファインディングや深雪での行動を体験できるところが、この山の魅力でもある。

観音平入口からの林道歩きでスタートとなる。観音平の駐車場、雲海と進んでいくと次第に積雪が増えてくる。押手川で、編笠山の頂上へ向かう道との分岐を右に進むとシラビソやコメツガなどの深い森となる。このあたりは編笠山の山腹を巻くように進むので傾斜は少ないが、積雪が多いとルートがわかりづらい。宿泊は、青年小屋の冬季小屋を利用する。

冬季小屋から山頂へは小1時間だが、急傾斜で思いのほかきつい。山頂直下で森林限界を超え展望が広がる。下りも急なので、転倒に注意。押手川まで下ってくれば、あとは前日歩いた道なのでひと安心だ。

（永易量行＝写真、編集部＝文）



▶歩行時間　1日目＝4時間　2日目＝3時間50分
▶アクセス［公共交通機関］　往復JR中央本線小淵沢駅⇔観音平入口（タクシー約15分／3400円／小淵沢タクシー☎0551-36-2525）
▶アクセス［マイカー］　中央道小淵沢ICから県道11号、618号で約10km。
▶宿泊問合せ先　青年小屋（冬季小屋）☎0551-36-2251
▶登山届提出先　長野県観光部山岳高原観光課fax03-6862-5035
▶2万5000分ノ1地形図　小淵沢・八ヶ岳西部

STEP UP

赤岳

文三郎道、地蔵尾根、どちらを通っても森林限界を超えた厳しい稜線歩きとなる。編笠山の頂上付近での経験が役に立つはず。

紹介ルート
編笠山

安達太良山

くろがね小屋に宿泊し山頂を往復する。頂上付近は風が強いことが多いので、厳しい雪山環境や雪上歩行を経験するのに最適。

ステップアップ
雪山登山
2018